

第202400112867号  
若桜町経発第402号  
令和6年7月30日

内閣総理大臣 殿

鳥取県知事 平井 伸治  
若桜町長 上川 元張

認定地域再生計画の評価結果について（報告）

令和3年3月30日付けで認定を受けた地域再生計画の評価結果について、下記のとおり報告します。

記

- 1 認定地域再生計画の名称  
若桜町の森林資源を活用したまちづくり計画
- 2 評価区分  
中間評価
- 3 評価結果  
別添評価調書のとおり

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	鳥取県	事業実施主体	鳥取県、若桜町	地域再生計画名	若桜町の森林資源を活用したまちづくり計画
計画期間	令和3年度～令和7年度	評価責任者	鳥取県農林水産部東部農林事務所八頭事務所長、若桜町経済産業課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度	中間実績		指標総数	達成数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	林業・木材産業の振興（指標：素材生産量の増加）	20,700m <sup>3</sup>	R元	25,000m <sup>3</sup>	R5	19,325m <sup>3</sup>	27,000m <sup>3</sup>	R7	△	3	2	中間目標値に対して、約77%の進捗となった。新型コロナウイルス感染症の拡大により森林所有者との調整が難航し現地着手が遅れたことや、令和2年から3年にかけての豪雪により森林整備が停滞したことにより目標値を達成することが出来なかった。
	指標2	林業・木材産業の振興（指標：通行危険個所の解消）	4箇所	R元	0箇所	R5	0箇所	0箇所	R7	○	3	2	既に最終目標値を達成している。
	指標3	林業・木材産業関連人口の増加	0人	R元	2人	R5	2人	3人	R7	○			
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度（R5）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業（整備延長）		100m	42m	42m	計画の一部を単町事業で実施したり、用地の承諾が得られなかったことで減となった。大雨時及び冬期間の消雪装置施設の稼働における冠水等に伴う、通行困難事案の緩和がみられる。							
	林道整備事業（整備延長）		3,629m	1,481m	3,399m	中間計画1,711mに対し、1,481mの整備と進捗率は約87%であり、若干の遅れがみられる。必要に応じ、計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
その他の事業	森林整備事業		撤出間伐等の森林施業と、これと一体となった森林作業道の開設			林業生産活動等が継続的に実施される仕組みを作り上げることを目指し、森林経営計画の認定を受けた者等に造林、間伐等の森林整備作業の支援を行った。							
	森林整備地域活動支援交付金事業		森林施業の集約化に必要な活動に対して支援			国土の保全、水源のかん養等森林の有する多面的機能が十分発揮されるよう、森林施業の集約化に必要な森林情報の収集および境界確認等の諸活動に対する支援を行った。							
	森林整備集落応援事業		一体的な間伐実施をとりまとめた集落等に対して支援			森林整備を促進するため、一体的な間伐の実施について合意形成した森林所有者等に対する支援を行った。							
	間伐材搬出支援事業		間伐材の搬出に対する支援			森林所有者、森林組合、素材生産業者に対し、間伐材を原木市場や製材加工施設へ出荷・販売に要した経費に助成した。							
	若桜材仕分支援事業		生産拠点（森林）から集材し木材加工拠点（製材所）に搬入された様々な若桜材の仕分けに対する支援			効果的な森林整備を促進するため、木材加工拠点での一括した仕分けに対する支援を行った。							
計画外で独自に実施した事業													
③評価方法	第三者（学識経験者）の意見を求め、中間目標値の実施状況に関する評価・検討を行った。												
④中間評価の公表方法	若桜町のホームページに掲載予定												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した林道整備と町道改良を一体的に行うことにより、地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークの構築が図られ、森林内から町内の加工拠点である木質資源加工ステーションへお運搬ルートの確保、林業の生産性の向上、地域経済の更なる活性化と農山村地域の発展を目的としている。 なお、指標1の素材生産量の増加については、現時点で目標達成の見込みが厳しい状況にあるが、路網整備により林業生産性が向上するよう引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無） 令和7年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円					町道整備事業において整備量の見直し、林道整備事業において2年延伸を予定。							
⑦今後の方針等に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業量・事業期間延長の変更の認定申請を予定</li> <li>●町道西町1号線の整備計画の完了に伴うの整備事業量、事業費の見直し                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備事業量 認定時 100m → 見直し後 42m [58m減]</li> <li>・総事業費 認定時 7,000千円 → 見直し後 4,500千円 [2,500千円減（うち中間評価結果を反映した削減額 4,500千円（うち交付金2,250千円）減）]</li> </ul> </li> <li>●林道の整備計画整備事業の2年延伸                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・総事業費 認定時 399,800千円 → 見直し後 470,000千円 [70,200千円増（うち中間評価結果を反映した増加額 70,200千円（うち交付金35,100千円）増）]</li> </ul> </li> </ul>												

# 地域再生計画における森林整備等の 目標達成状況について

鳥取県農林水産部東部農林事務所八頭事務所  
若桜町経済産業課  
八頭町建設課

# 地域再生制度の概要

- 地域再生法（平成17年法律第24号）

地方公共団体が作成する**地域再生計画**を内閣総理大臣が認定、認定計画に基づく措置を通じて、自主的・自立的な地域の活力の再生に関する取組を支援

計画に対し、事後評価可能な目標を設定し、事業主体により**中間年度**及び**事業完了後**に**評価**を実施

- 主な支援措置メニュー

## ○地方創生整備推進交付金

- 地方創生道整備推進交付金
- 地方創生汚水処理施設整備推進交付金
- 地方創生港整備推進交付金

# 活用する交付金の種類

- 地方創生道整備推進交付金

地域の実情に応じて、地域再生の目標及び地域再生を図るために行う事業等を記載した地域再生計画を作成

地域再生計画に記載された、省庁の所管を超える2以上の施設の総合的な整備を支援

道の整備事業では、市町村道・広域農道・林道の2以上の施設を連携して一体的に整備することにより、地域再生を図る

- 地方創生道整備推進交付金のイメージ



# 今回評価を行う地域再生計画

- 事業の**中間年度(令和5年度)**が終了した地区の**中間評価**

計画作成主体	地域再生計画の名称	整備する道の種類	事業期間	評価区分
鳥取県、若桜町	若桜町の森林資源を活用したまちづくり計画	町道 林道	令和3年～令和7年 (5年間)	中間評価

- 事業の**年度(令和6年度)**終了予定地区の**仮評価**

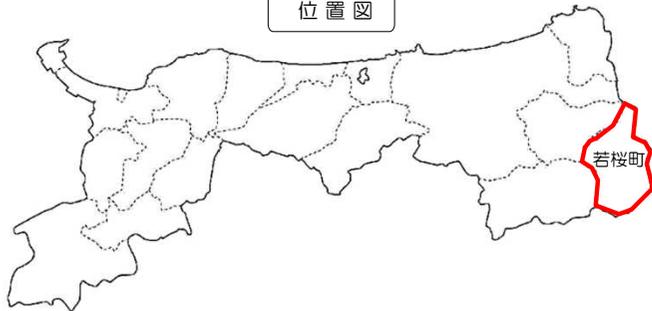
計画作成主体	地域再生計画の名称	整備する道の種類	事業期間	評価区分
鳥取県、八頭町	ふるさとの森リノベーション計画	町道 林道	令和2年～令和6年 (5年間)	事後評価(仮)

# 「地方創生整備推進交付金（道の整備事業）」を活用した地域再生計画（鳥取県若桜町）

## 若桜町の森林資源を活用したまちづくり計画

作成主体	鳥取県、若桜町（わかさちょう）
区域	鳥取県八頭郡若桜町の全域
計画期間	R3～R7年度

位置図



### ◆背景

○本町では、林業・木材産業を基幹産業としてとらえ、林業・木材産業の振興による地域経済の好循環を目指す。  
 ○本町の森林から産出される原木は、木質資源加工ステーションを経て町内外の消費者や製材利用施設へ搬出される流通システムが構築されており、素材生産量の増大による地域内経済の好循環が期待されるが、基盤となる林道網の整備が遅れており、加速的な林道整備が求められている。また、木質資源加工ステーションへの供給経路となる町道において、冬期の消雪装置運転の際、消雪水が路面に滞水し、通行の安全性、迅速性及び快適性が低下しており改善が必要。

### ◆目標

生産拠点（森林）と加工拠点（木質資源加工ステーション）を結ぶ林道及び町道の整備若しくは機能向上を通じて、素材生産から製品加工・供給までの木材流通一連の効率化を図り、地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークを構築することで、林業及び木材産業の振興を実現し、活力ある地域社会の形成を目指す。

#### 【数値目標】

・素材生産量	20,700m <sup>3</sup> (R1)	→	27,000m <sup>3</sup> (R7)
・通行危険箇所の解消	4箇所 (R1)	→	0箇所 (R7)
・林業・木材産業関連人口の増加	0人 (R1)	→	3人 (R7)



### ◆取組◆

○町道及び林道を総合的に整備

町道 100m、林道 3,629m

【地方創生整備推進交付金（道の整備事業）（内閣府）】

総事業費 347,000千円（うち交付金 173,500千円）

○その他の事業

- ・森林整備事業（国県町）・森林整備地域活動支援事業（国県町）
- ・森林整備促進集落応援事業（町）・間伐材搬出支援事業（県町）
- ・若桜材仕分支援事業（町）



若桜素材生産共同体による木材生産



木質資源加工ステーション



林道整備



皇居豊明殿 天井板(若桜杉)

# 若桜町の森林資源を活用したまちづくり計画【鳥取県・若桜町（わかさちょう）】

## 計画概要

- 本町は、町土面積の95%を森林が占め、“若桜杉”に代表される鳥取県内でも有数の森林資源を有する他、農林業へ甚大な被害を与えるシカなど害獣を逆手に取り、国内有数の処理頭数（シカ等年間3,000頭）を誇る獣肉解体処理施設わかさ29工房を整備し、ジビエの特産品化を進めている。森林資源に恵まれ、歴史的にも古くから県下有数の林業の町であった本町では、林業振興による雇用創出を総合戦略に位置付けている。
- 本町の森林から産出される原木は、木質資源加工ステーションを経て町内外の消費者や製材利用施設へ搬出される流通システムが構築されており、素材生産量の増大による地域内経済の好循環が期待されるが、基盤となる林道網の整備が遅れており、加速的な林道整備が求められている。また、製材所への供給経路となる町道において、冬期の消雪装置運転の際、消雪水が道路面に滞水し、通行の安全性、迅速性及び利便性が低下しており改善が必要となっている。
- このため、生産拠点（森林）と加工拠点（木質資源加工ステーション）を結ぶ林道及び町道の整備若しくは機能向上を通じて素材生産から製品加工・供給までの木材流通一連の効率化を図り、地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークを構築することで、林業及び木材産業の振興を実現し、活力ある地域社会の形成を目指す。なお、本路線は国土強靱化地域計画に位置付けられているものである。

地域再生計画の区域 鳥取県若桜町の全域

計画期間 令和3年度～令和7年度

## 地域再生計画の目標

項目	現状	目標
素材生産量の増加	20,700m <sup>3</sup> (R1)	27,000m <sup>3</sup> (R7)
通行危険箇所の解消	4箇所 (R1)	0箇所 (R7)
林業・木材産業関連人口の増加	0人 (R1)	3人 (R7)

※最終年度鳥取県森林審議会において最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行い、公表する

## 地域再生を図るために行う事業

< 地方創生整備推進交付金(道の整備事業) >

【林道】 L=3.7km

開設 630m 改良 49m(3箇所) 舗装 2950m

【町道】 L=0.1km

改良 100m

総事業費 347百万円(うち国費 173.5百万円)

町道 7百万円(うち国費 3.5百万円)

林道 340百万円(うち国費 170.0百万円)

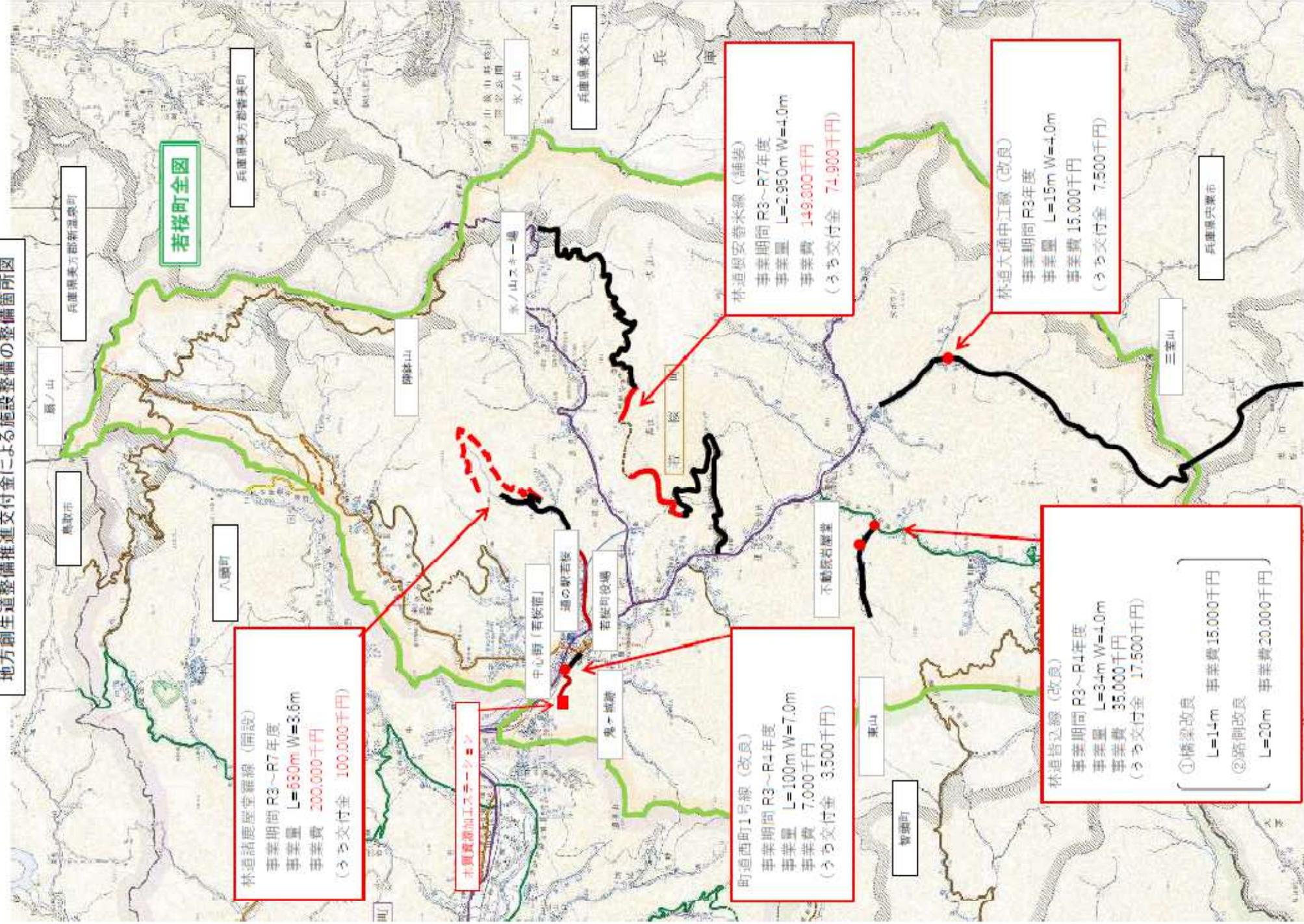
## その他の事業

森林整備事業、森林整備集落応援事業、間伐材搬出支援事業など

## 地域再生のイメージ



地方創生道整備推進交付金による施設整備の整備箇所図



若狭町全図

林道詰鹿屋堂羅線 (開設)  
 事業期間 R3～R7年度  
 事業量 L=630m W=3.6m  
 事業費 200,000千円  
 (うち交付金 100,000千円)

萩原加太スカーション

町道西町1号線 (改良)  
 事業期間 R3～R4年度  
 事業量 L=100m W=7.0m  
 事業費 7,000千円  
 (うち交付金 3,500千円)

林道根安巻米線 (舗装)  
 事業期間 R3～R7年度  
 事業量 L=2,950m W=4.0m  
 事業費 149,000千円  
 (うち交付金 74,900千円)

林道皆立線 (改良)  
 事業期間 R3～R4年度  
 事業量 L=34m W=4.0m  
 事業費 35,000千円  
 (うち交付金 17,500千円)

①橋梁改良  
 L=14m 事業費15,000千円  
 ②路側改良  
 L=20m 事業費20,000千円

林道大通中江線 (改良)  
 事業期間 R3年度  
 事業量 L=15m W=4.0m  
 事業費 15,000千円  
 (うち交付金 7,500千円)

鳥取市  
 兵庫県美方郡新温泉町

八幡町

中心町「百太郎」  
 道の駅若狭  
 若狭町役場

水ノ山スキー場

兵庫県養父市

東山

智頭町

三笠山

兵庫県六甲市

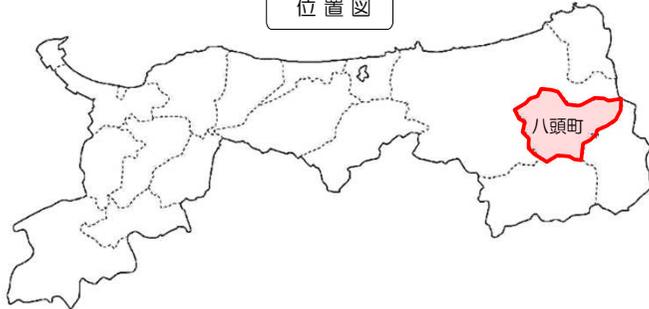
# 中間評価調書

# 「地方創生整備推進交付金（道の整備事業）」を活用した地域再生計画（鳥取県八頭町）

## ふるさとの森リノベーション計画

作成主体	鳥取県、八頭町（やずちょう）
区域	鳥取県八頭郡八頭町の全域
計画期間	R2～R6年度

位置図



森林レクリエーション施設



林業機械化による木材生産



国定公園の扇ノ山



高原地帯の気候を活かした大根生産

### ◆背景

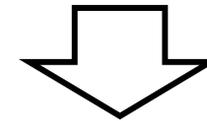
- 町内の豊かな自然を生かした主要な観光拠点間は、周遊可能なアクセス道路が整備されているが、その一部は安全な通行が危惧される状況で、観光客や農林産物の運搬車両などの利用者が安全に通行できるよう道路施設の機能向上が急務となっている。
- 林業では、木材価格の低迷や、林業従事者の高齢化・減少等により森林整備が十分に実施されていない状況であるが、森林の適正な管理、林業の活性化を図るためには間伐等を中心とした施業を実施する必要があるが、林道の整備が不十分

### ◆目標

町道及び林道を一体的に整備することで、観光拠点間のアクセス向上が図られ地域周遊型の観光を確立する。また、林道整備を進めることで森林施業の効率化、森林の環境維持を図ることにより、観光客の増加や地域産業の振興を目指す。

#### 【数値目標】

- ・森林施業面積の増加  
18ha (H29) → 28ha (R6)
- ・年間ふるさとの森利用者数の増加  
15,800人 (H29) → 17,400人 (R6)



### ◆取組◆取組

- 町道及び林道を総合的に整備  
町道 1,000m、林道 1,866m
- 【地方創生整備推進交付金（道の整備事業）（内閣府）】  
総事業費 442,000千円（うち交付金 221,000千円）

### ○その他の事業

- ・森林整備のための地域活動支援事業、森林環境保全整備事業、間伐材搬出等事業、国道29号周辺地域振興事業

# ふるさとの森リノベーション計画【鳥取県・八頭町(やずちょう)】

## 計画概要

- 町には豊かな自然を生かした森林レクリエーション施設「八東ふるりの森」や氷ノ山後山那岐山国定公園内の「扇ノ山」といった魅力ある資源が存在しており、主要な観光拠点間は周遊可能なアクセス道路が整備されているが、その道路の一部は交通量の増加や車両の大型化による路面陥没等のため、安全な通行が危惧される状況となっており、観光車両や広留野高原で栽培された夏大根及び森林内で生産された木材等の運搬車両など利用者が安全に通行できるよう舗装厚、橋梁強化等の道路施設の機能向上が大きな課題となっている。
- また、町の80%は森林資源が占め、資源も充実しつつあるが、その利活用にあたり森林施業の効率化と木材生産コストの低減を図るための基盤となる林道整備が急務となっている。
- このため、町道・林道を連携して一体的に整備することにより、地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークを構築し、観光拠点間の安全な通行と農林産物の安全な輸送及び林業の生産性向上を図ることで、地域経済のさらなる活性化と農山村地域の発展を目指す。

## 地域再生計画の区域

やずぐんやずちょう  
鳥取県八頭郡八頭町

## 計画期間

令和2年度～令和6年度

## 地域再生計画の目標

項目	現状(平成30年度)	目標(令和6年度)
森林施業面積の増加	18ha(H25～H29)	28ha(R2～R6)
ふるさとの森利用者数の増加	15,800人/年	17,400人/年

※最終年度に事後評価検討会を実施し、目標の達成状況を確認し公表。

## 地域再生を図るために行う事業

### ○地方創生整備推進交付金(道の整備事業)

町道:1km 林道:1.87km

総事業費 442百万円(うち国費 221百万円)

町道 80百万円(うち国費 40百万円)

林道 362百万円(うち国費 181百万円)

### ○その他の事業

森林整備のための地域活動支援事業

森林環境保全整備事業、間伐材搬出等事業

国道29号周辺地域振興事業

## 地域再生計画のイメージ



貯木場・チップ工場



森林の管理



八東ふるりの森



扇ノ山



広留野大根



# 事後評価調書（仮評価）

# 地域再生計画における評価検討会

## 1 鳥取県八頭事務所、若桜町、八頭町

資料により地域再生計画の概要と「若桜町の森林資源を活用したまちづくり計画」に関する目標達成状況を中間評価調書により説明した。

また、今年度が計画の完了年度である「ふるさとの森リノベーション計画」の目標達成状況について、現計画の仮評価結果及びフォローアップを新規計画に盛り込む必要がある為、仮評価を行った。

## 2 山本名誉教授 評価検討等

### (1)「若桜町の森林資源を活用したまちづくり計画」

◎：山本特任教授      ○：若桜町      △：八頭事務所

#### ■計画の目標等について

◎：林業・木材産業関連人口で2名の実績があがっているが、緑の雇用を活用した者か。移住者だったりするか。

○：2名とも町内在住者で県の担い手の補助事業を活用している。

◎：この先定着させることが重要。

◎：町内に木材市場はないのか。

○：現状ない。町内の木材は、木質資源加工ステーション（ウッディ若桜）から市場等へ出されている。

◎：素材生産量の進捗の遅れについての要因は。

○：新型コロナによるものが大きいと思われる。

◎：間伐は利用間伐か。

○：はい。利用間伐が多い。

#### ■事業の進捗状況について

（町道整備事業）

◎：延長の58m減についてはどういったものか。

○：急ぎで整備の必要があったため単町費により施工した。また、用地に関して地権者の了解が得られなかった区間があったため、延長が減となった。

△：国の重要な変更該当するため、これから手続きを行う予定としている。

（林道整備事業）

◎：林道はすべて完成（舗装済）のものか。

△：整備量で上げているものはすべて完成延長。

## (2)「ふるさとの森リノベーション計画」

◎：山本特任教授      ○：八頭町      △：八頭事務所

### ■計画の目標等について

- ◎：ふるさとの森利用者の目標達成が厳しいのは新型コロナが影響しているか？
- ：計画を立ててすぐに新型コロナが発生し、観光客が激減した。終息した後もV字回復とまでいってない状況。
- ◎：観光資源を活かすのであればうりをアピールしていかなければならないと思う。  
ふるさとの森であれば、野鳥や植生が素晴らしいしうりがあると思う。
- ：ホームページで鳥の紹介をしたり、バードウォッチング等集客をしているところ。
  
- ◎：八頭町は全体的に標高が低く、森林施業ができる箇所が限られている印象がある。
- △：若桜や智頭と比べると低い方かもしれない。八頭町内も材の搬出に力を入れている。

### ■事業の進捗状況について

(林道整備事業)

- ◎：延長の進捗が悪いのはなぜか。
- △：法面の崩壊が2箇所が発生して、その対策及び道路線形の見直しをしていたことで進捗が思わしくない。
- ◎：土質によるものか。土質で整備が進んだり、進まなかったりすることは仕方ない。  
図面上で線形を書いても実施で土が悪くて進まなかったり線形を見直すことはよくあること。
- △：土質によると思われる。

## (3)総括

山本特任教授

- ・観光資源（ふるさとの森）については、アピール方法を工夫していく必要がある。  
鳥取県の林業についても同様で、植生が面白く魅力があるため対外的にアピールが必要だと思う。
- ・自分の自治体を高く評価して仕事をしてほしい。
- ・計画の進捗が悪かったということは何かしらの要因があり、その中で社会的要因によるものが必ずあると思うので致し方無いところもある。現状、国産材は年々安くなっているにも関わらず、外国産材を輸入している。そのような社会情勢を加味していくためにも、現場を知ることなど多様な情報源を得ていただきたい。  
また、地形・気象など様々な要因があったと思うが、計画自体が無理なものではなかったかなど、上手く進まなかった原因を究明して次へ活かしていく必要がある。  
今回の2町の計画についても要因を解析し、次の計画へ活かせるものとして欲しい。